

～今、市民の森では！～



昆虫もたくさん載っています

作成:NPO 法人 ハケ岳森林文化の会 森林観察学習部会  
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin\_bunka@yahoo.co.jp)  
掲示許可:茅野市 環境課 環境保全係

毎年、一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。お問い合わせは 75-1772。

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

台風後の雨で座学 (悦)

一週間前の天気予報には雨マークが付いていましたが天気は快方に向い予定通りに実施できました。

今回は実りの秋ですから果実に注目して、沢沿いの小径→山頂コース→中央コース→南コースを巡りました。

今月も、ちらほらキノコが出ており、「食べられるキノコ！ムキタケ」と聞くと、我も我もと群がる人々。観察会がキノコ狩りに変貌でした。

ハンノキの枝でミドリシジミの卵、ミズメの枝に几帳面に整列したアオクチブトカメムシの卵を見つけました。卵の形状、模様、それぞれ個性的で感動しました。



果実で賑やかな秋の森 (洋)

鳥に遠くまで運んでもらうよう、自らは地面に落ちないためなのか、紐状のものが付いたツリバナの種子。色も形も愛らしいが有毒らしいマユミの果実。並んでつり下がっている姿が楽しいエゴノキにも、特に果皮に毒があるらしい。また、ムラサキシキブは園芸種とは違った趣が感じられた。

一方、食べ比べではサンカクヅルの酸っぱさが食べ応えがあり美味しかった。赤い山椒の実を噛って程よい痺れも楽しめた。

リュウノウギクの香り (su) 写真(悦)

これまで、名前の由来と言われる葉の香りにだけ注目(注鼻?)していました。

ふと、花は？と思いワンクン… カモミールの花のような、いくぶん甘さ控えめの香りです。

お茶にできるかしら？調べてみたら、全草が薬草として入浴剤などになるようですが、お茶は不明。

見て、嗅いで、楽しむだけにしておきましょう。



記号の説明:

- ①xx:ガイドブック「市民の森に集う」xxページ参照
- ②xx:ガイドブック2「森を楽しむ」xxページ参照

ガイドブック2「森を楽しむ」は、2017年3月に発行し、只今、300円で販売中。

《取扱所》 茅野市尖石縄文考古館  
茅野市北山 カフェ 午後の森  
《問合せ》 NPO 法人 ハケ岳森林文化の会  
☎: 0266- 75-1772

秋を満喫 (桂)

吉田山には、我家の周辺にないものが沢山あります。実りにもそれぞれの個性があり、見るだけでも楽しかったです。可愛いムラサキシキブとキミズミ、プロペラまで紅葉するウリカエデ、春をじっと待つヤシャブシの実。他にも沢山あり、秋を満喫しました。



ムラサキシキブ



キミズミ



ウリカエデ



ヤシャブシ

果実で賑やかな秋の森 (森)

庭によく来るカメムシが、あんなに綺麗にたまごを産むなんて、ビックリ！です。ドングリも帽子の違いで、木の種類が分かったり、ズミの実やムラサキシキブ等 いろいろな木の実が、まるで宝石のように綺麗だったり、今回は改めて 自然観察して楽しいなと思いました。これからも 宜しくお願いします

10月に会ったむし達(悦)

- モンキチョウ♂♀②110
- ミドリシジミ卵
- イカリモンガ②120
- クスサン ♀②119
- オオルリボシヤンマ
- アカネの仲間
- アオクチブトカメムシの卵

10月に観察した花 (悦)

- アキノキリンソウ①108
- ヤクシソウ①109
- シロヨメナ②87
- リュウノウギク ①110
- ヒメジョオン②86
- アケボノソウ①111
- ハナタデ②96
- センボンヤリ閉鎖花①111
- ミズヒキ①103
- ヌスビトハギ①107
- イヌタデ①103
- アキノウナギツカミ①108
- ノコンギク①110
- ツクバトリカブト①113
- リンドウ①112

10月に観察した果実 (悦)

- ウワミズザクラ①70
- キミズミ①71
- ガズミ①83
- コバノガズミ①76
- オトコヨウゾメ①76
- ムラサキシキブ①93
- ミツバウツギ①74
- キブシ①67
- アブラチャン①66
- ウリカエデ①68
- カラコギカエデ①132
- ヤシャブシ①131
- サワフタギ①74
- クサギ①100
- グリ①123
- コナラ①121

**森は、にぎやかな色でいっぱい (黒)**

市民の森は、樹々の色づきが進み、赤や黄色、茶色まで、にぎやかな色で飾られています。

木の実もいろいろ。

赤いのは、ガマズミ、オトコヨウゾメ、コバノガマズミ、黄色はキミズミ、紫はムラサキシキブ、青はサワフタギ、……。

まるでお祭りのような鮮やかさ。

今回一番の目玉は、頂上広場の' Lindou。

周りが枯草になっている中で、ひときわ目立つ鮮やかな青い花。

ちょうど、ハナアブ(?)が出てきたところをみつけました。

脚に花粉は付いているかな？

そして、市民の森で初めて見たマユミの赤い実。やわらかな赤さですね。



**ミズメの枝に卵 (悦)**

香りを嗅ぐための手折ったミズメの枝に、粒粒が綺麗にビッシリと並んでいました。1個1個に模様がついています。

帰って調べた結果、アオクチブトカメムシの卵です。カメムシは几帳面、卵は2列に計56個。



**秋晴れの観察会 (口)**

○逃した獲物は大きかった

頂上で草の上に大きな気配なんとトノサマバツタ、近寄った瞬間 パット翅を広げ見失うくらいの距離を飛びました そのすばしっこさに記録も残せず残念でした。

○キノコ豊作？

イグチ、ムキタケ、クリタケ、ホテイシメジ、ナラタケ、ホコリタケ、ニガクリタケ、カラカサタケ…etc. やっと市民の森がキノコで賑やかになりました。



サンコタケ



ナラタケ

**あれ？ミズナラじゃないんじやない？ (悦)**

沢沿いの小径に入るとすぐ、落ち葉の観察をしているとき、大きなミズナラの葉と説明しましたが、ドングリが違いますね。

見つけた大きな葉

見つけたドングリ

ミズナラのドングリ



**コブシの実 (直)**

コブシの花はよく目にしますが、コブシの実は知りませんでした。でも名前の由来は実の姿だったんですね！(参:ガイドブック)



ダンコウバイ



アブラちゃん

**ノコンギクとユウガギク (悦)**

ノコンギクとユウガギクの違いの一つが、冠毛の長さです。冠毛は、タンポポなどの果実の上端の毛状の突起で風を受けて飛び、種子を散布するのに役立つとされています。

しかし、ユウガギクの種子はこれでは風で飛びませんよね。ノコンギクもタンポポほどの飛び方は期待薄ですね。

種子を見るに、ノコンギクも、ユウガギクも、群れて咲くのは、親から遠く離れられないせいでしょうか？

ノコンギク



ユウガギク



とする、いったいこの木は何の木？

このドングリは、市民の森で観察している、コナラ属のコナラ、ナラガシワ、カシワとも違います。

2010年の観察会で当時長野県森林大学校講師の大木先生の「ドングリの殻斗から実が半分以上出ているればミズナラだが、埋もれているようなものにモンゴリナラがある。」という話を思い出しましたが、図鑑には掲載されていないので、長野県環境保全研究所に同定を依頼しました。結果が待ち遠しいです。



オトコヨウゾメ



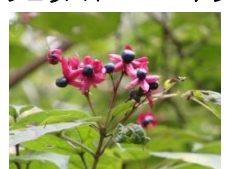
ガマズミ



コバノガマズミ



ツリバナ



クサギ



サンショウ